

主な出来事

【内政】

- 独立選挙委員会が電子投票機の調達を停止
- 野党連合, トロクウェン補欠選挙で勝利
- 野党ボツワナ民主運動党, 党内の権力争いが激化

【外政】

- 日本がボツワナに勲章を授与
- ヌネス伯外相, ボツワナを訪問
- ムスワティ3世スワジランド国王, SADC議長としてボツワナを訪問
- ボツワナ, ジェンダーに係るSADC条約に署名

【経済】

- S&P社のボツワナ国債(ソブリン)格付けの維持
- ボツワナの世界競争力指標の順位が上昇
- 観光開発税の導入が延期となる見通し

【内政】

○ 独立選挙委員会が電子投票機の調達を停止

野党ボツワナ会議党(BCP)による提訴を受け, 独立選挙管理委員会(IEC)は電子投票機(EVM)の調達を停止した。BCPは, 憲法第32条(c)(2)に「投票に際しては投票用紙に物理的にマーキングすること」と規定されているため(当館注: 実際の規定は the votes shall be given by ballot)電子投票機の導入は違憲だと主張している。(3日: ガゼット紙)

○ ンガミ選挙区はンカテ氏を支持

ンガミ選挙区の与党BDP党員は, 党の次期事務局長候補として(元駐日大使の)ンカテ氏を支持。マウンやオカバンゴなどの周辺選挙区も同氏を支持すると予想される。他方, これらの選挙区では次期幹事長候補の支持を保留しており, マシシ副大統領又はモレフィ・インフラ科学技術大臣のどちらか, ンカテ氏と協調する候補者を支持すると見られる。(11日: メヒ紙)

○ 野党連合, トロクウェン補欠選挙で勝利

14日, トロクウェン選挙区補欠選挙で野党連合・民主改革のためのアンブレラ(UDC)から立候補したセホコ氏が勝利した。選挙結果は, UDC: 4, 364票, BDP: 2, 156票, 無所属: 57票であった。(15日: デイリーニュース紙, モニター紙)

○ カーマ大統領, 裁判所を管理下に

カーマ大統領は, モルピシ大統領府首席次官を, 司法サービス委員会(JSC)のメンバーに任命

した。JSCは高等裁判所と上訴裁判所の裁判官任命を大統領に助言する機関。大統領が同次官を通じてJSCに影響力を及ぼす疑いがあるとして、ボツワナ法律学会は権力分立の原理に反すると今回の任命を批判している。(16日:ボツワナ・ガゼッタ紙)

○ 改正公務員法案, 大統領府首席次官にさらなる権限を付与

政府は公務員法の改正法案を公表した。この法案では、公務員の給与の引き上げを決定する交渉委員会の任命権や公務員に対する懲戒処分に関する権限が大統領府首席次官に付与される。同次官の権限を強化することになるこの改正法案に対し、公務員組合による反発が予想される。(16日:メヒ紙)

○ 野党ボツワナ民主運動党, 党内の権力争いが激化

野党ボツワナ民主運動党(BMD)の執行委員会(NEC)は党首と副党首を含む党員6名に対する停職処分を下した。この処分内容はBMDが所属する野党連合である、民主改革のためのアンブレラ(UDC)にも通知され、当該処分者をUDCの役職から除外するよう要請された。(18日:メヒ紙)

【外交】

○ 日本がボツワナに勲章を授与

日本政府は、モツワハエ元駐日大使に対し旭日重光章を、セコポ環境天然資源保護観光省森林保護担当課長に対し旭日小綬章を、それぞれ授与する旨発表した。この叙勲は、モツワハエ元駐日大使が、日本・ボツワナ間の相互理解の促進及び友好関係強化に貢献したこと、セコポ森林保護担当課長が日本の技術協力活動の推進及び両国の関係強化に寄与したことに鑑み決定されたとのこと。(4日:デイリー・ニュース紙)

○ コルウェ国会議長, キューバを訪問

コルウェ国会議長は二国間関係強化のためにキューバを訪れた。本訪問で両国は、これまで行われてきた伝統的な二国間の定期訪問と意見交換を維持した上で、両議会の友好関係構築に向けた取り組みを進めることに合意した。(5日:デイリー・ニュース紙)

○ ムスワティ3世スワジランド国王, SADC議長としてボツワナを訪問

9日、ボツワナ訪問中のムスワティ3世国王は、カーマ大統領を表敬訪問した。同日、ムスワティ3世は、SADC事務局を訪問し、SADCの産業化戦略及びロードマップを達成することは持続的な経済発展につながる旨発言した。これに対し、タックスSADC事務局長は同国王の提唱するSADC大学の設立の他、SADC事務局の効率性の向上等の様々な分野において事業を進めていく旨発言した。(10日:デイリー・ニュース紙)

○ ヌネス伯外相、ボツワナを訪問

9日、ヌネス伯外務大臣は、ベンソン＝モイトイ外務国際協力大臣を表敬した。モイトイ外相は、伯の技術協力に関し感謝の意を伝えた上で、1985年の外交関係樹立以降、両国は民主主義、グッドガバナンス、法の支配といった価値を共有しつつ良好な二国間関係を有しており、政治、文化、開発等にかかる政策協力協定に署名したこと等を述べた。ヌネス外相は、マカト保健大臣も表敬し、薬品、人材育成の分野での協力の意向を表明した。(11日:デイリーニュース紙)

○ ボツワナ、ジェンダーに係るSADC条約に署名

10日、カーマ大統領はジェンダー及び開発に係る修正SADC条約に署名した。同条約の署名式にはタックスSADC事務局長、バツ国家・移民・ジェンダー大臣、閣僚等が出席した。同条約はジェンダーに係る法律、政策及び事業の実施を促進することで、女性の能力強化、女性に対する差別の根絶、男女比率の均等を実現することを目的としている。(11日:デイリー・ニュース紙)

○ ダライ・ラマのボツワナへの入国は不透明

当地NGOであるMind and Life Dialogueによると、ダライ・ラマ14世は、8月17日～19日にボツワナ大学で行われるMind and Life Dialogue主催の会議に参加する予定。ホイツツェマン外務国際協力省次官は「政府はダライ・ラマ14世の訪問について今のところ検討しておらず、本件に係る見解を表明する立場にない」と述べ、また、タン中国大使館政治部長は、「本件は機微な問題であり、現時点では何も申し上げられないが、今後本件に係るプレスリリースを発出する」と発言した。(14日:サンデー・スタンダード紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

1) 経済成長率

2016年第4四半期の経済成長率は、前期比0.1%(同年第3四半期の経済成長率は、前期比マイナス1.1%)。

2) インフレ率

2017年4月は3.4%(2017年3月は3.5%)。

3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2017年5月31日

1プラ=0.095米ドル

1プラ=1.222南ア・ランド

1プラ=10.60円

2017年4月28日

1プラ=0.093米ドル

1プラ=1.229南ア・ランド

1プラ=10.47円

○ ダイヤモンド産業

1) デビアス社のダイヤモンド原石販売の増加

デビアス社の発表によると、同社の第1四半期におけるダイヤモンド原石の販売量は、ダイヤモンド市場の回復を受け、昨年比74%増の1410万カラットとなった。ただし、同結果は昨年の同時期における原石販売会の開催が二回であった一方で、本年の開催が三回であったことによる影響が大きい。同社のダイヤモンド原石の1月の販売は好調で、2月及び3月の販売は安定したため、昨年の三回分の原石販売会の売上と比較すると、本年の売上は2%増の18億6000万米ドルとなった。(1日:モニター紙)

○ エネルギー・資源

1) BCL 社, UAE 企業との交渉に更なる期間を確保

15日、昨年から破産手続きを進めているBCL社(当館注:政府が同社の株式を100%保有)の暫定清算人は、高等裁判所でUAEの首長投資社との交渉を行うために必要な同社の清算過程の30日間の延期を申請し、同申請は承認された。同申請の承認により、新たな清算期限は本年6月15日となった。同社の清算期限は二回延長されており、前回の期限延長はUAEの首長投資社がBCL社を購入するためのデューデリジェンス(当館注:対象企業やその不動産、金融商品などに係る調査活動)を実施するためになされた。(16日:メヒ紙)

2) BCL 社の購入に関し, UAE 企業にライバル出現

17日、BCL 社の購入に関して、UAE 企業である首長投資社に競争相手が浮上した。BCL 社の暫定清算人は BCL 社のタティ鉱山の購入に関心を示している SADC 域内の企業から売買に係る提案を受け取った旨発言した。暫定清算人は、関心を示している SADC 域内の企業名を明らかにしなかったが、同社は最終的な清算が完了した際には BCL 社の他の鉱山を購入する可能性もある旨述べた。(19日:メヒ紙)

3) ボツワナ・エネルギー・規制庁の活動開始予定

鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障省エネルギー担当アドバイザーによると、ボツワナ・エネルギー・規制庁(BERA: Botswana Energy Regulatory Authority)は、6月末までに活動を開始できる見込み。BERA はエネルギー産業における競争性を確保し、消費者、政府及び発電者を保護するために全ての関係機関に対し、透明性を確保することを目的として2016年に設立されたが、資金不足のために活動を開始していなかった。(31日:デイリー・ニュース紙)

○ ボツワナ銀行, 基本割引率・基準貸付利率を5.5%に維持

4月28日、ボツワナ銀行金融政策委員会は、インフレ率が政府目標の3~6%内となっていることを受け、基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を5.5%に維持することを決定した。(5日:デイリー・ニュース紙)

○ **S&P 社のボツワナ国債(ソブリン)格付けの維持**

S&P格付けサービス社は、ボツワナ国債(ソブリン)格付けに関し、長期国債をA-、短期国債をA-2、見通しをネガティブに維持する旨発表した。(5日:ガーディアン紙)

○ **ボツワナの世界競争力指標の順位が上昇**

世界経済フォーラムが最近発行した「2017年世界競争力指標」によると、ボツワナの競争力指標は前回の順位から8位上昇し、138か国中、64位となった。同指標は、国内の事業環境や生産性による経済の競争力を数値化したもの。周辺国の順位に関し、ボツワナはナミビア及びケニアよりも上位となったものの、南ア及びモーリシャスよりも下位となった。(10日:メヒ紙)

○ **観光開発税の導入が延期となる見通し**

環境・天然資源保護・観光省次官によると、政府は本年6月1日から観光開発税の徴収を開始する予定であったが、同税に係る規定(Fund Order)の制定の遅れ及びボツワナ商工会議所(ビジネス・ボツワナ)の反対により、同税の導入は延期となる見通し。(28日:サンデー・スタンダード紙)